慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	紐育市社会事業の実証的研究 : Kate Huuntley, Financial Trends in Organized Social Work in New York City. New York, 1935. Albert J. Kennedy,Kathryn Farra and Associates, Social Settlements in New York City;Their Activities, Policies, and Administration. New York, 1935
Sub Title	
Author	小島, 栄次
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1935
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.29, No.6 (1935. 6) ,p.887(141)- 890(144)
JaLC DOI	10.14991/001.19350601-0141
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19350601-0141

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

紐育市社會事業の實證的研究

——Kate Huntley, Financial Trends in Organized Social Work in New York City. New York, 1935. 及び Albert J. Kennedy, Kathryn Farra and Associates, Social Settlements in New York City; Their Activities, Policies, and Administration. New York, 1935.——

小島榮次

米國に於ける社會事業は、今や一種の危機に立つて居る。それは二つの方面に於いて、著しい變化に直面して居るのである。即ち第一には、引續く不況の裡に逐年增加して來た失業者群の貧困化の爲め、私設社會事業の基金は勿論、地方自治體の基金も甚しく不足を告ぐるに至り、聯邦政府よりの補助金に倚賴することが頗る大となつたこと、第二には、斯かる貧困者の激增の結果として、その取扱方法も自ら集團的取扱方法——個人差に注目するケースワークの方法と異なつて、多數者を同樣の困窮狀態に在るものと看做して一律の取扱ひをなす集團的取扱方法を多く用ひざるを得ない狀態となつたことである。非常に不足して居る公私の社會事業基金を、どうしたら最も有效に使ひ得るか。從來ケースワークに主力を注いで來た米國の社會事業に於いて、集團社會事業を最も有效に行ふが爲めにはどうしたらよいか。斯くの如き極めて切迫した事情のもとに、米國の社會事業は、今や精密な再吟味を受ける必要に迫られて居る。換言すれば、社會事業の現實の狀態を詳細に研究することから出發し、更に進んで右の

二疑問に對する解答を見出さねばならぬのである。社會事業の現狀の實證的な研究、これこそ斯業の進歩に極めて必要な準備行動であつて、程度の差こそあれ、吾國に於いてもその必要は十分認めらるべきである。（「社會事業研究」六月號拙稿「社會事業の概念に就いて」參照）こゝに紹介する二著作は、右の如き意味に於いて、吾々にとり大いに注目さるべきものである。

ハントリィの「紐育市の組織的社會事業に於ける財政上の諸傾向」は、一九一〇—一九二九年の二〇年間紐育市に於いて經營を續けて來た獨立の社會事業機關八二〇個所に就いて、その二〇年間にわたる財政狀態を實地につき調査したものである。調査者は、基金の源泉を、報酬的收入（奉仕の報酬・製造品の販賣等）財產及び投資（地代・配當・利子）寄附金（個人・遺產寄附・他の團體よりの助成金・演藝會或はバザア等）政府よりの補助金・その他雜種收入の五種に分ち、支出を、借入金返濟・不動產有價證券等への投資・他の團體への寄附金・製造業或は商業を營む場合その事業費・本來の目的とする事業の費用（これは更に諸種の社會事業部門に應じて細く分類される）及びその他の費用の六種に分けて、その夫々に對する實數を求め、民間據出の基金と政府及び公團體より提供さるゝ基金との比較的重要性・種々の社會事業部門に對する支出額の比較・五種の收入源泉の比較的重要性・この二〇年間に對する變動狀態・等を示して居る。

社會事業はその都市又は農村の社會的特質に適應して經營されねばならぬのであるから、右の紐育市に於ける研究に依つて示された數字は、勿論その儘では吾々として何ものも得るところはない。紐育市の當事者に對して今後如何なる方面に於いて費用をより多く必要とするかといふ問題や、或は如何なる方面に於いてより多くの收入の途を開拓すべきかといふ問題や、或は全體として同市の社會事業の財政的基礎は如何なる狀態にあるかといふ問題等に對する解答を與へて居るのである。然し乍ら吾々としては、この書に依つて斯かる調査を行ふ方法・その效果等に就いて敎へられるところが極めて大である。

社會事業の現實に就いての研究は、右に述べられた財政方面の研究の他、大體二つの方面にわたつて行はれる必要がある。それは諸種の社會事業部門の事業方法に就いての研究と、社會事業從事者の實際の作業の分析とである。而して更にこれ等に加へて、社會は種々の社會事業を如何なる程度に必要として居るかに就いての研究が行はれゝば、將來の社會事業經營に對する建設的な計畫と改良とを行ひ得るであらう。前揭書は、後述のセットルメント研究と共に The Welfare Council of New York City の調査課の行つた調査の結果であるが、この機關は、右に述べた四つの方面に對する調査研究を以つて、將來の建設に對する基礎と看做し、過去七年間その方針に基いて調査を進めて來たと云ふ。（前揭書序文八—九頁）「紐育市に於けるソォシァル・セットルメント」は、右の四方面の調査のうち、第二の方面の調査の一部をなすものである。この書は、紐育市に於ける八〇のセットルメントにわたつて、その機能・その地域的分布・その組織及び管理・その財政狀態・その取扱ふ兒童・青年・成人等に就いて、すべて實地調査を基礎とし詳細に研究した成果である。殊に各機能に就いての研究は、本書の主要部分を占めて極めて詳細にわたつて居り、吾々に對しても多くの示唆に富んで居る。前述の「財政的傾向」と同樣、本書に於いても、斯かる方面の實地調査の方法に就いて、吾々の得るところが多い上に、セットルメント經營の方法に關しても、現在行はれて居る方法及びその缺陷を明確に指摘して居るが故に、その方面でも指針を示すところが多いのである。社會事業は夫々の都市或は農村の社會的特質に適應せねばならぬけれども、セットルメント經營の方法は、謂はゞ、一種の技術でありこれを特定の特質を持つた社會に適應するやうな態樣に於いて使用するに過ぎないのであるから、紐育市

に於ける研究であらうが伯林市に於ける研究であらうが、吾々にとつて學ぶべき多くのものを示して呉れる。

The Welfare Council of New York City は、上記三書の以外に既に多數の調査を發表して居る。例へば Michael M. Davis and Mary C. Jarett, A Health Inventory of New York City. 1929. Mary C. Jarett, Chronic Illness in New York City, 2 vols. 1933. Ruth Reed, The Illegitimate Family in New York City. 1934. 等は、前述の基礎的研究の第四の方面に屬するものである。然し乍ら第三の方面に屬するもの即ち社會事業從事者の Job analysis の方面では、この機關からまだ纒つたものが發表されてならしく、筆者の知る限りに於ては、Harper's Social Science Series 中に次の二書があるのみである。即ち Louise C. Odencrantz, The Social Worker in Family, Medical and Psychiatric Social Work. New York, 1929. 及び Margaretta Williamson, The Social Worker in Group Work. New York, 1929. であつて、二書とも、American Association of Social Workers の主宰した調査の報告である。斯うゝふ實證的な研究は、米國社會學の方面に於ける近年の傾向からも、更に促進される形勢が明かである。L. L. Bernard (ed.), The Fields and Methods of Sociology. New York, 1934. 中で Stuart A. Queen は、社會事業の境界の調査[illegible]問題・效果的な事業方法を決定すべきであると主張して居る、吾國でも斯くの如き態度を以つて[illegible]

[illegible]れることが切望されるのである。(Financial Trends. xxiv+330 p. $3.75. Social Settlements. xxxi[illegible]

(昭和十年五月卅日記)

前號（第二十九卷第五號）目次

◉勞働喜悅論　[illegible]林
◉ナチスの擡頭及びその經濟的基礎　[illegible]の社會[illegible]・[illegible]　加田哲二
◉リカードオ直後に於ける其の分配理論に對する英國經濟學者の修正意見　高橋誠一郎
◉エリッヒ・ブライザー著「經濟の形態と形成」　氣賀健三
◉Manfred Schreiber, Grundzüge einer national-organischen Aussenhandelspolitik, 1935.　岩田仞
◉鈴木小兵衞著「滿洲の農業機構」　小池基之

●一冊定價金五拾錢
●半ケ年分金貳圓九拾錢
●一ケ年分金五圓四拾錢
郵稅金壹錢五厘
郵稅共
●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
●營業に關する用件は發賣元宛
●原稿締切期日は發行の前月十日限
昭和十年五月卅一日印刷納本
昭和十年六月一日發行
毎月一回一日發行

三田學會雜誌
禁轉載
第二十九卷第六號

編輯兼發行者　東京市芝區三田二丁目二番地慶應義塾内　江田範保
印刷者　東京市赤坂區新町五丁目四十二番地　金子鐵五郎
印刷所　東京市赤坂區新町五丁目四十二番地　金子活版所

發賣元　東京市芝區三田貳丁目壹番地　丸善株式會社三田出張所　電話三田一九二六番
◉尚ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所　東京芝三田慶應義塾内　理財學會